

謹賀新年

中国の犬 チャウチャウ

ことは「いぬ年」。町内にも多くの種類の犬がいますが、町内

はもとより十勝管内でも珍しい中国の犬「チャウチャウ」が緑町の駒野正剛さん宅で飼われています。顔はライオンに似ていますが、とてもおとなしく、家族からかわいがられています。



まぐべつ

昭和
'82 (57年)

360

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

1

年頭のごあいさつ

輝ける新年を迎えて

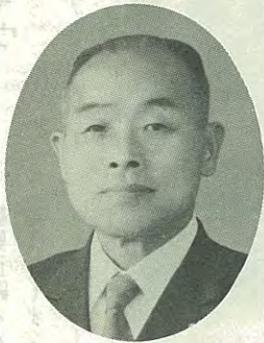
幕別町長

大石 忠夫



町議会議長

山田 栄



うれしかったこと、悲しかったこと、苦しかったこと、楽しかったこと、それぞれの思いを深く心に刻み込みながら、この新しい年を希望と期待をこめて、二万人の町民の皆さんと共に迎えることをうれしく思います。

今年、幕別町新総合振興十カ年計画の二年目です。「生きる喜びを創造するまち—幕別町」が、この計画の主題です。町民の皆さんの協力によって、この実現を期したいものと思っております。

商店の前には、年末年始の頃ともなると、「みかん」の箱が高く積み上げられているのは、昔も今も変わらないです。

でも、私の少年時代の箱は杉の木で、稲縄でくくられていました。

箱の中の「みかん」は買って来た時から少し凍ったものもあり、家の中でいつの間にかカチンカチンと音のするほどに凍った時もありました。

希望と期待を託して昭和五十七年を迎えるにあたり、幕別町議会を代表し謹んで新年のお慶びを申し上げます。

先ず、昨年八月の台風と前線停滞による風水害によって、全小麦の穂発芽をはじめ農作物全体に、最悪の被害をうけられながら、よりいつそうの営農意欲を固めておられる農家の皆様はじめ、不況ムードのながびく状況のもとで、職場や家庭にあつて懸命にご努力されておられます町民の皆様に、心から感謝と敬意を表します。

本町では昨年三月に、「生きる喜びを創造するまち—幕別町」をテーマに、十年後の将来像をとらえて幕別町新総合振興計画を制定しましたが、第一年次計画事業が順調に進ん

りました。

皮をむくどころか、かじることもできないので、ストーブの上に乗せて溶したが、皮はこけても内はまだ凍ったのや、溶けかかったのを食べると酸味と苦味の混じった変な味でしたが、うまかったです。三つ四つ位分けてもらったのを食べながら正月つてよいなあと思われました。

大きいダンボール箱の凍らない艶のよい「みかん」。いくらでも食べられますが、昔しの凍れ気味の少しの数の「みかん」が私には一番うまかったようです。

この日本特産のみかんも過剰気味であったり、外国との競り合いで農業も大変です。

ご家族そろって「みかん」を食べている様子を心に浮かべながら、よい年にするようがんばりましょうと新年のごあいさつを申し上げます。

であります。十勝圏においても、圏内経済発展に大きな役割を果たす各種大型プロジェクトが、つぎつぎと進められております。

このたびの国の行財政改革に伴い、地方自治体の自主的努力を大きく求められることになり、地方財政にとつてまことに厳しい負担増が必然となりましたが、苦しい時にこそ、その現実を厳粛にとらえて対処することによって、次にくる躍進の根が培われるものと信じます。議会といたしましては、いつそう使命遂行に努力を尽す決意でありますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。終りに、新年が輝かしい年でありますよう町民の皆様のご健勝をお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。

札内北小学校で落成式

の校章・校歌も発表

人口増加の著しい札内地区に三番目の小学校として誕生した「札内北小学校」の校舎と体育館がともに完成し、その落成式と祝賀会が十一月二十二日行われました。

この落成式には、全校児童のほか、PTA、教育関係者など二百人が出席しました。

落成式は午前十時から行われ、札内北小学校のシンボル「校章と校歌」も発表されました。校章・校歌とも校下内からの一般公募によるものです。



(校章)

その中から、石川渡さん（札内青葉町・札内北小学校教諭）が图案したものを選びました。この校章は「北の字の円外に出ている四画は、四つの教育目標を表わし、円形は、四つの教育目標の調和的



発達を意味し、小の字の三画は、教師・地域父母・教育関係者の三者で目標の具現化を図るための協同作業であること」を表現しています。全体的には「明日に伸びる子、未来にはばたく子」を象徴しています。

また、校歌は、八点の応募があり、清原俊旺さん（札内あかしや町・札内北小学校教諭）の詩が選ばれ、それに、清水町の高橋亮仁さんが曲をつけたものです。

札内北小学校は、昭和五十五年六月、三億九千四百万円をかけた工、五十六年四月開校し、今年度は体育館七百六平方メートルの建設が行

赤ちゃんクラブが25歳に

赤ちゃんクラブの歌「はばたけ赤ちゃん」も誕生

われていきました。また、学校の周囲には、PTAや校下住民の皆さんの協力で植樹も行われました。通学道路の整備も着々と進み、教育施設の完成とともに札内北学校の新しい第一歩が始まったと言えます。

「赤ちゃんクラブ」が結成されて、今年で二十五周年を迎え、十一月三十日に町民会館で「二十五年記念式典」が行われました。幕別町に赤ちゃんクラブが誕生

はばたけ赤ちゃん

一、未来をみつめる つぶらな瞳
幸わせつかむ 紅葉のような手
あつく燃える ころもてと
そつと祈る パパの姿

二、桃色ほつべに 小さなお口
母をみあげて 乳房をしゃぶる
心すこやかに つよく育てと
そつと祈る ママの笑顔

三、我が息子よ娘よ 手をとりあつて
あの樹のように みどりの大地に
根つこおろして 大きくはばたけ
ア……十勝の空へ
ア……赤ちゃんクラブ

したのは、昭和三十一年三月で、十勝管内でも、このような会が最も早く結成されました。当時は、乳児の定期検診は個々が帯広市内の保健所などへ通っていました。その不便を解消しようと、お母さんたちが一カ所に集まる例会をつくり、そのなかで赤ちゃんの検診や育児に必要な母親としての勉強を積み重ねていこうというのが目的でした。その後、古舞、糠内、駒島など交通の便の悪い農村部にも結成され、現在は、六地区にあります。結成当時、赤ちゃんで加入していたが、いまは母親として加入している人もおり、二十五年という時の流れを感じます。同クラブでは、この二十五周年

多くの利用を

西幕別地区町営リンクが完成

を記念して「赤ちゃんクラブの歌」をつくらうと一般公募をしたところ、元会長の中村美知子さん（緑町）の詩「はばたけ赤ちゃん」が入選。これに、役場に勤務する徳田博司さんが曲をつけ記念式典で発表されました。

現在、同クラブには二百一人の会員がおり、定期検診のほか、学習会など活発な活動が行われていますが、この二十五周年をステップに「より充実した活動を」と話しています。



完成したスケートリンク

ら



年—生

ま

れ

ことは、いぬ年、町内には、八十四歳から十二歳まで七世代のいぬ年の方がいます。そこで、七世代十人の方の抱負などを聞いてみました。

ぼく、駒野さん家の「カンペエ」です。ことしは、ぼくらの年。きっと良いことがたくさんあるのではと期待しています。

ぼくの顔はライオンに似ているでしょう。中国にたくさん友だちがいるんですよ。中国では「チャウチャウ」と呼ばれています。一回遊びに来てね。



昭和9年生まれ
相川 菊地サト子さん

そうですね。旅行をしてみたいと思っっているのですが、なかなか行けなくてね。農家ですが、去年は良い年でなかったですね。いぬ年は豊作年といわれていますので期待しています。それから、主婦として、家族の健康に気をつけ、楽しい一年にしたいですね。

六十歳ですか。何か年寄りの仲間入りという感じでいやですね。そうですね、年寄りももっと勉強しなければと言われてますのでいろいろな面で自分をみがく年になりたい。四十歳、五十歳とやってきたことを振り返り、これからの人生を考える年にしたいですね。

大正11年生まれ
千住 広瀬 始さん



明治43年生まれ
途別 山口 タカさん

年だから、健康に気をつけ長生きしたいね。木や花を種から育てて大きくするのが楽しみでね。丈夫な方でないので家の囲りと老人クラブと、しらかば大学へ行くぐらいかね。しらかば大学は大学院生でこの春で卒業なんです。もつと行きたいのだけだね。

何んでもやってみたいなあと思うのだけど、体が思うようにならなくてね、一番の楽しみは、読書かな。いろいろな本を読んてみたいね。八人いるひ孫の顔を見るのも楽しみだよ。とにかく、いつも明るく、楽しく一日でも長く生きたいね。

明治31年生まれ
寿町 加藤銀市郎さん



迎春

幕別町役場

町長 大石 忠夫
助役 高橋 一男
収入役 二川 豊

幕別町議会

議長 山田 栄
副議長 黒島 通
議員 佐藤 糸江
加藤 秀雄
石原 郁夫
国枝 光明
岸上 利雄
林 源一
八十島宗正
前川 正
西田 利夫
廻淵 茂
笹島登喜生
須田 起
森脇 仁
折笠 要
中寺常次郎
山中 増雄
水野 正盛
高橋 勇
六郎田 勇
山崎 長一
小田 善一
関口 茂男
稲毛 空征
伏屋 隆徳

われ

カットは土井博詞さん(明野)の作品



昭和四十五年生まれ

明倫 小野寺聖樹くん

最上級生として、明倫小学校を楽しい学校にするため児童会や学習を一生懸命やりたい。毎朝みんなでマラソンをやっていますが、ことしも続けて健康な体をつくりたい。

学習では、社会科がにがてなので良い点をとれるようがんばりたい。家は農家なので、家の手伝いもしたい。



昭和四十五年生まれ

新和 大西 孝子ちゃん

ことし、中学生になります。中学へ行ったらバレーボールや演劇をやってみたい。そして、お友達をたくさんつくって楽しく学校へ行きたい。いまは十人の学校だけど、大きな学校へ行っても負けないよう一生懸命勉強したい。

それから、姉弟と仲よくして、お父さん、お母さんの手伝いもしたい。



昭和二十一年生まれ
錦町 稲毛 一郎さん

運勢判断を読んでみますと、今年は、あまり良くない年なんだそうです。そこで、今年も、しっかりと将来計画を立て直し、新たなスタートの年にしたいと考えています。仕事でもあまり家族サービスをしていないので、家族で旅行でもと思います。

「えと」なんて、全く気にしてなかったのですが、三十六歳になっちゃったんですね。人生の折返し点、一番大切な時期という感じで、身が引き締まる思いです。主婦として、家族みんなの健康を願っています。それから、みんな旅行をしてみたいですね。

昭和二十一年生まれ
札内新北町 早坂ケイコさん



昭和三十三年生まれ
日新 森 富士章さん

酪農をやっています。昨年は、生産調整などであまり良い年ではありませんでした。ことは、その分良い年であってほしいと願っています。二十四歳になって農業経営にも積極的に参加していこうと思っています。困りから嫁をもらえんか。

二十四歳ノ 私の人生で一番最高の年になりそうなんです。だって、私、お嫁に行くんですもの。農家に生まれて、農家に嫁ぐのですが、畑にあまり出たことがないので少し心配です。彼と二人で精いっぱいやってみようと思っます。私自身一回り大きくなれるかなあ。

昭和三十三年生まれ
駒畠 中村 孝子さん



幕別町農業委員会

会長 中寺常次郎

会長代理 寺林 幸雄

委員 西田 利夫

委員 奈良 武一

委員 長谷川俊三

委員 中村 勝美

委員 廻瀬 茂

委員 浦田 邦夫

委員 妹尾 寿男

委員 広瀬 喜章

委員 七島 信雄

委員 山中 増雄

委員 佐藤 忠幸

委員 坂下 庄蔵

委員 鈴木 良秋

委員 沢田 清信

委員 高橋 勇

委員 杉本 峰夫

委員 遠藤 信志

委員 難波 春男

委員 折笠 要

委員 片山 利光

委員 富谷 政男

幕別町教育委員会

委員長 黒川 喜雄

代理 辺見 徳明

委員 新田 彰生

委員 梅田 敏男

教育長 福田 省市



新春座談会

出席者のお名前

司会・高橋敏男さん(町社会教育委員)

小山秀樹くん(幕別中・3年)
北原正喜くん(幕別中・2年)
東原真美さん(幕別中・2年)
石野新一くん(札内中・3年)
長谷さゆりさん(札内中・3年)
沢山康子さん(札内中・3年)

力いっぱい生きてみよう

校内・家庭内暴力、非行、受験戦争など中学生を取り巻く社会は厳しく揺れ動いています
が、町内の中学生は、何を考え、何を求めているのか話しを聞いてみました

野球部ではファーストを守っています。

東原 同じく二年、生徒会の副会長で、演劇を見ることが趣味です。

沢山 札内中三年、今年芽室から転校したばかりで部活動は何も入っていません。

司会 では、本題に入りたいのですが、学校生活を通して、楽しいこと、いやなこと、いろいろあると思うが、今、一番感じていることは何んだらう。

北原 テーマにもあるんだけど非行のことが気にかかります。

司会 非行の問題ね。大きな問題が最初から出てきたのだけど非行に走ってしまう人たちを見て、みんなはどう思っているかな。

長谷 心が弱くて、周りの環境に負けて非行に走ってしまうのでは。

北原 生活の中に過保護があつて、それが、甘えやわがままにつながり、不満を押えることができなくなつて、非行に走つて

しまふのではと思う。

東原 非行に走る人は、学校が面白くないんじゃないかな。授業がわからない、先生に対する不満など。これはわがままだと思ふのだけだ。

沢山 自主性がなく、一人になると能力の発揮できない人なのではないかと思ふ。

司会 非行に走る原因には、家庭・学校・社会と三つの面に問題があるように思ふのだけど、家庭では親子断絶の時代と言われているが、家の中で一番おっかない人は誰かな。

東原 お父さん。

沢山 同じくお父さん。

司会 よく相談する人は。

北原 お父さん。

小山 お父さんかな。

司会 みんな、十分家庭内で相談している方なんだね。

長谷 割と友だちにも相談する方だし、両親には友だち以外のことで話している。

石野 親に隠しごとをするわけじゃないけど、主に友だちと相談している。

司会 皆さんには親子の断絶はないようだね。では、学校生活についてなんだけど、先生にも責任があると言う話しもあったが、そのへんはどうだらう。

A 先生に要求的なことになるんだけど、おちこぼれ”という気持ちを抱くのは、先生がもう少し

し、その生徒に話しかけることをして生徒の心を理解してほしい。

B 教科書だけが勉強ではないと思う。マンガの本を通して、子供の心を知ること必要だ。

C ぼくたちの先生は悪いことをしたらしかつてくれる。でも中には知らないふりをする先生もいる。しかつてくれる先生がいい。

D 相談や話しを聞いてくれる先生を望む。たまには、いっしょにさわいでくれる先生がいい。
E 問題が起きてても、無難にというか、逃げて、ずるい感じがする。

司会 なるほどね。ほかには。
F いまは「学力中心」というところがあつて、それに対する反発が非行につながっていると思います。

司会 ところでね。これは、大人の社会で言われるのだけ「学歴社会」ということばがあつてね。みんなも知っていると思うけど、中学生からみてどう思うかな。

石野 社会がそうなっているのだから、ついて行くしかないと思う。

長谷 そういう社会はいやだけど私たちが変えることはできないし、従うしかないと思う。

東原 私も同じです。
司会 非行問題について、いろ

いろ話してきたけど、昔の非行は貧しさからのものだった。でも、今は、親もある程度、子供のほしい物を買ってくれる家庭の子に非行が多いと言われるが、なぜなのだろうね。

小山 やつてはいけないということへの好奇心からでは。

長谷 ほしいからということばかりではなくて、社会への反発もあると思います。

司会 それではね。もし、みんなの仲間が非行に走った場面を見たり、知ったとき、勇気を持って注意入言うことができるかな。
小山 現実になつてみなければわからないけど、たぶん、できないと思う。

北原 友だちならできるかもしれないけど、知らない人まではできないと思う。

司会 それでは、非行を未然に防ぐにはどうしたらいいのだろうね。

北原 自分さえよければいいという考えではないのだけど、非行に走るの個人の見えだし、その人の気持を理解できないから止めることはできないと思う。
小山 学校生活や家庭の中に不満がある人が非行に走っている。だから、学校や家庭を楽しめるのにしたらいと思う。

司会 それは、誰がするのかな。
小山 周りの人たちが、みんな

長谷……心が弱くて、囲りの環境に負けて非行に走るのは

北原……過保護が甘えやわがままにつながり、不満を押えられないのでは

東原……学校が面白くないんじゃないかな

で少しずつ。

司会 なるほど。それではね。話しを変えて、みんなから見た

“大人の社会”というか、大人の姿はどのように見えるかな。

北原 大人の人は、悪いこ

東原さん



北原くん

長谷さん



司会・高橋さん

るもんだと思う。

石野 全員じゃないけど、大人はズルいと思う。

司会 君たちの世界にも、見て見ぬふりをするとか、そのような人いるのでは。

長谷 みんなではないけど、自分の生活だけ守るといふか、人のことはかまっていられないという人もいます。

司会 何か、こう話しをしていると、君たちの世界と大人の世界とが同じようにみえてくる。君たちの世界からそのようでは社会は良くならないと思う。ところで、君たちは、腹の底から怒ること、けんかをしたことなどはあるのかな。

北原 あまりない。それでは問題解決にはならないと思うのだから。

石野 やっぱらない。話して逃げるというか、ごまかして終っている。

司会 いろいろな話しはあったけど、先きほど「学歴社会」を肯定するような話しがあった。それでは、精いっぱい、学習に努力するとか、部活動などに全力で打ち込むという気持はないのかな。

石野 やっぱりわかつているのだけど、情性に流れるときもある。

司会 何か目標を持っていれば悪い誘惑にも勝つことができる

し、そういう意味で、しっかり目標を持って生きていくのかな。

東原 目標をはっきり持っている人は少ないのでは。

北原 野球部に入っているが、部活動をしているときは真剣なんだけど、なくなると、ただ、ぶらぶらしてしまうときもある。

石野 新春座談会だし、楽しい夢のある話してみたいと思うのだけど、今日は、三年が多いし、学校生活で楽しいとき、充実感のあるときはいつか話してみようか。

小山 三年間で修学旅行が一番楽しかった。毎日の生活の中では友だちと会って話しをしているとき。

石野 やっぱり、友だちと会って

高橋……二十一世紀は君たちのもの、悔いのない青春を！



石野くん



小山くん



沢山さん

ているときと部活動のとき。

長谷 部活動でみんなといっしょにガンバって良い成績を残せたとき。

沢山 一年のときは部活動が楽しかったけど、三年になって勉強、勉強であまり楽しい思い出はない。

石野 みんなで、つくり上げることの楽しさもあると思うのだけど。

石野 生徒会の行事が成功したときはうれしかった。

司会 最後に、大人になったらこんな人になりたいとか、こんな仕事をしてみたいと言うような夢を聞きたいのだけど。

沢山 将来は小学校の先生になりたい。

東原 まだ、これというものはないのだけど、料理することが好きなので、料理の先生か調理師になりたいな。

長谷 お菓子を作るのが好きなので調理師かな。とにかく、やりがいのある仕事をしたい。

石野 好きな建築士か機械関係の技師になりたい。

小山 歴史が好きなので、歴史を研究するような仕事につきたい。

北原 先生以外の公務員。

司会 最後に、楽しい話になってきたのだけど、二度とない青春だから、何か大きな目標に向かって全力でぶつかってほしいね。若いときは、失敗してもやり直せる。何事にも、た

くましく生きてほしいね。二十一世紀は君たちの時代、力いっぱい生きて行こう。今日はどうもご苦労さま。

新春座談会を読んだのご感想をお寄せください。特に現代の青少年非行の問題について皆さんはどのような考えますか。(役場総務部町民課広報係まで)

賀正

町選挙管理委員会

委員長 中川 秋義

〃 職務代理者

大野 春雄

委員 中村 修

〃 杉本富美男

公平委員会

委員長 森田 宣雄

〃 職務代理者

沢井 重一

委員 福野 黎明

監査委員

委員 谷地田豊四郎

委員 廻淵 茂

固定資産評価審査委員会

委員長 滝川 登

委員 矢野 善七

〃 笹井 延雄

たばこ消費税は暮らしの中に生かされています



●たばこは町内で買ひましよう。

スロープが完成

役場庁舎正面の入口にスロープが完成、車いすのまま、庁舎に入ることができるようになりました。



健康カルテ

糖尿病 (上)

成人病の中で、高血圧などととも高い割合を占めているものに「糖尿病」があります。その数は、100人に1人といわれ、また、40歳以上になると20人に1人ともいわれています。「健康カルテ」今月から2回にわたって「糖尿病」について皆さんと考えてみたいと思います。

☆ ☆

糖尿病は、生まれつきの性質で、膵臓から分泌されるインシュリンというホルモンの働きが不足し、体内のいろいろな物質の変化(代謝)が正常と変った状態になってしまう病気です。

成人してから発病する糖尿病では、初期の症状にあまり特徴がなく、しかも徐々に進行します。このため、健康診断などで偶然に糖尿病が発見されて気づくといったことが少なくありません。

一般的な初期症状としては空腹感が強くなり、とくに甘味類を好む傾向が出てきます。同時にのどがかわいて水をよく飲むようになり、したがって尿の回数と量が目だつてふえてきます。尿の色は薄く、くだものの腐ったような臭いを発します。からだは、だるく疲れやすく、根気がなくなり、食欲は旺盛でたくさん食べますが、体重は次第に減ってきます。

併発症としては、化膿菌にたいする皮膚の抵抗力が低下するため「よう、ねぶと」といった急性化膿性の炎症がでやすくなり、膀胱炎や腎盂腎炎などをおこしやすくなります。この状態のまま放置したり、治療を途中で怠つたりすると、手足のしびれ、眼底出血をおこしたり、視力障害など全身障害に発展します。

次回は糖尿病の治療方法を考えてみます

幕別高校の普通科間口増を道教育庁に陳情

「幕別高校の普通科の増設を」と、町や町議会、PTA連合会が中心となって「幕別高校全日課程普通科増設促進期成会」(会長大石町長)を設立、道教育庁に陳情活動を行っています。

幕別高校は、昭和二十三年池田女子校幕別分校(夜間定時制普通科一学級)としてスタート。二十六年四月には町立幕別高校として認可され、三十八年四月から全日制商業科一学級、自動車科二学級が設けられました。道立移管になったのは四十年四月です。

しかし、普通科進学を希望する生徒が増加、昭和五十年七月に、同校普通科新設促進期成会が設立、道教育庁に陳情活動を行った結果五十二年四月から商業科を廃科して普通科一学級が設けられ、さらに、五十三年四月には普通科一学



幕別高校

級が増設されました。五十六年町内の中学卒業生のうち高校進学者は二百七十一人です。しかし、幕別高校普通科への進学は四十三人と全体の一五・九%で、ほとんどの生徒は、帯広市、池田町、芽室町など近隣の市町村へ

通学する典型的な「拡散現象」を示しています。

また、五十七年四月の入学からは十勝管内を四学区に分けた新学区制が行われることから、池田町、清水町などの学区へは入学できなくなり、幕別高校普通科への進学はより厳しくなるものと考えられます。

さらに、町内の中学生の推移をみますと、将来的には年々二十人ほど増え続ける状況にあり、昭和六十年(現在小学六年)には三百四十九人が中学を卒業するようになります。

このようなことから、同期成会では、道教育庁へ幕別高校普通科増設を強く陳情したものです。

しかし、道教育庁では「今年は丙午生まれの年にあたり、学級を減らしている状況。また、帯広地

児童、生徒の推移

卒業年	56	57	58	59	60	61	62	63
現学年	高1	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3
児童生徒数	271	288	303	319	349	340	368	399

昭和56年進学状況

高校名	幕別	帯柏	帯三	芽室	池田	清水	新得	南商	帯農	帯工	大樹	札南	工専	音更	私立
進学状況	33	23	14	37	43	7	2	11	12	12	1	1	5	1	35

区の普通科高校新設(六間口)の計画もあり、幕別町の事情は十分理解できるが、帯広学区全体で考えて行きたい」と答えています。今後とも、期成会を中心に全町をあげた、積極的な活動が必要と

1人2口までOK

町民交通傷害保険

保険期間は3月まで

保険料は月額40円

★お申し込み、お問い合わせは

役場交通防災係、支所、出張所へ

捨てられるゴミの中にも 貴重な資源がたくさんある

「ゴミ問題を考える」
今月は「資源回収」について
皆さんと考えてみたいと思
います。

「ゴミ」をいろいろな角度から
考え、ゴミ問題のよりよい解決方
法を求めようというのが、この特
集のねらいです。

先月号までを、ここで、振り返
ってみますと、①ゴミの量と処理
費用 ②空カン公害 ③ゴミの出
し方(個々のモラル)、について考
えてきました。ここまでは、「ゴ
ミ」を、私たちの生活の中からは
み出た「邪魔物」という角度で見
てきました。

しかし、今月は「ゴミ」の中
に資源として再利用できる物はない
かということについて考えてみた
いと思います。

皆さんの家庭から出されるゴミ
の量は、燃えるゴミ、燃えないゴ
ミを合せて七千八百二十二トにも



資源回収に取り組む南町一公区の皆さん

古新聞、古雑誌、空
ビンなどは資源として
りっぱに再利用できる
ものばかりです。また、
別な言い方をしますと
「お金」になるものば
かりです。

皆さんの家庭から一
回に出されるこのよう
なゴミの量は、少ない
かもしれませんが、でも、
一カ月では？ また、
隣り近所の人たちが持
ち寄ると、かなりの量
になるのではないでし
ようか。

このように、再利用
できる資源を公区など
が中心になって回収運
動を行っている地域が
全町で十七カ所ありま
ります。

なります。そこで、皆さん、ゴミ
を出す前に、袋の中をのぞいてみ
てください。古新聞に古雑誌、
空ビンなどは入っていませんか。

この中から、南町一公区の婦人
部が取り組んだ資源回収運動を事
例に、皆さんと資源回収について

考えてみたいと思います。

婦人部の活動費に 益金を

南町一公区では、二・三年前か
ら、資源回収運動をなんとか取り
組めないものかと公区内で話しが
出されてきました。しかし、中心
となる組織がつかず、話しは断
ち切れの状態となっていました。

ところが、昨年の春に、婦人部
で取り組んでみてはとの声があり
婦人部の活動としての取り組みが
始まりました。

回収は、二カ月に一回のペース
で、初めは、役員が各戸を回ると
いった方法が進められました。し
かし、それでは役員の方が大変と
決められた日に、みんなが、児童
公園前に持ちようとういうことに
なりました。

第一回目の回収は、七月十九日
新聞紙(二百二十キ)、雑誌類(五
十キ) 酒ビン(百三十六本) ビー
ルビン(二百三十七本) 鉄類(二百
キ) が回収され、これをお金にす
ると一万二千九円になりました。

その後、八月、十月と二回の回
収を行い一回目も含めて二万五千
三百二十三円の実績がありました。

資源回収運動を取り組み、家庭
内や地域的に「ゴミ」に対する変
化をみてみますと、①物を大切に
するようになった ②家庭内での
ゴミの区分けがよくなった ③公
区内の交流がより活発になった
④買物が上手になった、などがあ
げられます。

資源回収で得た益金は婦人部の
活動費に使われています。

資源回収運動を

全町的な 取り組みに

一年間に出されるゴミの量は七
千八百二十二ト。この内一〇%が
資源利用できるとしたら七百八十
トになり、南町の事例で推計しま
すと、五百四十六万円が還元され
る計算になります。

また、七百八十トのゴミを処理
するのにかかる町の経費は五百五
十万円になります。

皆さんが、資源回収運動に取り
組みますと、五百四十六万円の収
入となり、町も皆さんの重要な税
金を他の事業に向けられ、より住
みよい生活環境づくりが進められ
ることになるわけです。

ゴミ問題の解決方法は、皆さん
の心と資源回収運動”なのかし
れませんか。

無火災を願って 消防団出初式

1月7日に第1分団・8日に第2分団・9日に第3分団が、それぞれ実施——●



町消防団恒例の出初式が、一月七日に第一分団、八日に第二分団、九日には第三分団で何れも午前十一時から行われます。出初式では、団員全員で無火災を願っての神社参拝や分列行進が

行われ、その席上、次の皆さんが、表彰されることになりました。

■東十勝消防事務組合長表彰

▽勤続三十年・藤平薫（第三分団副団長）

▽勤続二十年・那須将生（第一分団員） 橋本雅弘（同）

▽勤続十年・稲上由紀夫（第一分団員） 佐藤富士雄（同） 小野光義（同） 阿部勝利（同） 早津邦男（同） 齊藤正憲（同） 吉田賢治（同） 大上光一（同） 津村章広（同） 有沢章（同） 西岡幸康（第二分団員） 森脇伴吉（第三分団員） 鎌田明（同） 松岡



(昨年出初式・第一分団)

明（同）
▽勤続五年（団長表彰）・品田竹夫（第一分団員） 藤木修一（第二分団員）

●精勤表彰（三百回以上）
西川薫（本部部長） 広瀬堅持（第一分団班長） 齊藤正憲（第一分団員） 津村章広（同） 鈴木英一（第二分団班長） 加藤正則（同）

小田良一（同） 山口孝（第二分団員） 高橋勝利（同） 大野潤二（同） 西田利文（同） 新田勝治（第三分団部長） 松岡明（第三分団員） 山口吉雄（同） 石井照一郎（同）

●精勤表彰（百五十回以上）
阿部勝利（第一分団員） 品田竹夫（同） 橋本雅弘（第三分団員） 長崎進（同）

■北海道消防表彰
▽三十年勤続・藤平薫（第三分団副団長）

▽二十年勤続・橋本雅弘（第二分団員） 那須将生（第一分団員）

▽十年勤続・鈴木英二（第二分団班長） 大野潤二郎（第二分団員） 高橋勝利（同） 西田利文（同）

●協会長表彰
▽三十年勤続・鉾館守（副団長） 藤平薫（第三分団副団長）

▽二十年勤続・橋本雅弘（第三分団員）

▽十年勤続・稲上由紀夫（第一分団員） 佐藤富士雄（同） 小

野光義（同） 阿部勝利（同） 早津邦男（同） 齊藤正憲（同） 吉田賢治（同） 大上光一（同） 津村章広（同） 有沢章（同） 西岡幸康（第二分団員） 森脇伴吉（第三分団員） 鎌田明（同） 松岡明（同）

●十勝支部長表彰
▽二十五年勤続・宗内信一（副団長） 山中謙治（第二分団部長） 武藤利貞（第三分団班長） 村田三男（同）

▽十五年勤続・渋谷清一（本部部長） 関谷勝彦（第一分団員） 中村勇（同） 村田義雄（第三分団員） 長崎幹夫（同）

▽五年勤続・藤木修一（第二分団員）

野光義（同） 阿部勝利（同） 早津邦男（同） 齊藤正憲（同） 吉田賢治（同） 大上光一（同） 津村章広（同） 有沢章（同） 西岡幸康（第二分団員） 森脇伴吉（第三分団員） 鎌田明（同） 松岡明（同）

●町へ……
▽森下明有さん（札内青葉町）から「孫がお世話になってます」と、札内南小、白人、十勝愛育園、日新、札内、青葉保育所にそれぞれ十万円を寄付。▽塚田充さん（札内新北町）から娘の病氣見舞のお返しを廃して十勝愛育園に三万円を寄付

●町社会福祉協議会へ……
▽土田ミエ子さん（南町）から夫が生前お世話になりましたと五万円。▽長坂純一（幕別後援会）からチャリティー歌謡ショウの益金五万円。▽匿名の方から千円。▽幕別ライオンズクラブ（杉野国男会

長）からチャリティーの益金七万五千六百三十七円。▽萩野久信さん（古舞）から母が生前お世話になりましたと十万円

●老人クラブへ……
▽鈴木昭三さん（札内桂町）から札内鉄南老人クラブへ二万円

▽上原幾次さん（札内中央町）から札内老人クラブへ三万円。▽清信アキさん（明野）から明野・新川長寿会へ一万円

●その他
▽橋本かそみさん（五位）から婦人ボランティア連盟へ二万円

チャリティーコンサートの

益金を寄付

町青年ボランティア連盟と町青年団体連絡協議会が十二月六日、町民会館においてチャリティーコンサート「手品と音楽の夕べ」を開催。その益金四万一千二百二十円を社会福祉協議会に寄付しました。

青年の代表が長尾社協会長に手渡ししました

11



幕別町ふるさと館

〒089-05 幕別町字依田384-3 ☎(01555)6-3117
AM9:30→PM6:00 毎週火曜日休館

第6回特別展・2月1日から

前号で1月15日からと
お知らせしましたが、展
示資料の整理のため遅れ
ます。ごめんなさい。



アイヌのくらし

自然とともに生きた人々の知恵は、現代文明へ何かを問いかけている。アイヌの人々の生活をふり返ってみる特別展。

〔資料募集のお願い〕アイヌ文化に関する資料を集めています。寄贈、あるいは貸してくれる方、ご連絡ください。

作れる。折り紙と飛行機だけじゃないんだよ。紙鉄砲、紙ずもう、バラバラ漫画、へび踊り、でんぐり、からくり屏風など...
一月十日のちびっこ新年会は、そんなむかしの遊びの大特集だ。おもちゃを自分で作ってみる「工作コーナー」をはじめ、新作ジグソーパズルや、コマまわし大会など、たのしいことがいっぱい。そして、ちよっぴりだけと賞品もある。
お父さんお母さんもおもしろい冬休みのたのしい思い出をぜひふるさと館で。

むかしあそびの大特集

ちびっこ新年会

1月10日(日)

おなじみ「ちびっこ新年会」は一月十日(日)朝十時から始まるよ。
子どもの遊びにもブームがある。今はアラレちゃんや電子ゲームなどだけ、むかしはそんなおもちゃはなかった。だから、みんな自分でおもちゃを作ったし、道具が

おなじみ「ちびっこ新年会」は一月十日(日)朝十時から始まるよ。
子どもの遊びにもブームがある。今はアラレちゃんや電子ゲームなどだけ、むかしはそんなおもちゃはなかった。だから、みんな自分でおもちゃを作ったし、道具が

知ること、は、けつてつもらないことじゃない。気にいったら友だちに教えて、はやらせちゃおう。
「糸まきタンク」って知ってるかい? 割ばしと輪ゴムと糸まきがあれば、カタカタ動くおもちゃが作れるんだ。紙からもいろいろなものがあるよ。



お父さんお母さんもおもしろい冬休みのたのしい思い出をぜひふるさと館で。
一年かけて丸木舟を作ってみたと思います。ホールに原木を置き、始めと終わりはプロの手で、中間の工程は来館者の手で掘っていく計画です。見事にできあがったら、十勝川で進水式。幕別は内陸の町ですが舟と縁がないように思いがちですがアイヌの人々しか住んでいなかった頃、そして開拓者がやってきた頃、舟は重要な交通機関でした。

幕別ものごたがり

連載 第23回

バターの子守歌

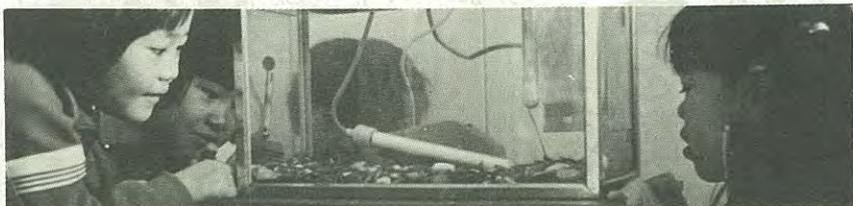
花子 右手に うあつ。こわいよう。あんな大きな犬、見たことないよう。見える家は何な大きさ犬、見たことないよう。という家?
祖母 だいじょうぶだよ。ほうら祖母 雨山さね。身体は人間より大きいけど、んだよ。そのとてもおとなしくてね、ヨーゼフすぐ左手を降
花子 それじゃ、ハイジに出てくる名前と同じだね。

祖母 この家が福家さんだよ。南勢では、明治三十年の南勢開拓合資会社が有名だけど、それよりもわずかに早く香川県から福家縮吉さんといふ人が入植して来たんだ。
花子 どうしてそんなに遠くへ。
祖母 縮吉さんは、今の慶応大学を始め福沢諭吉先生、北海道の開拓の大切さ、しかもその中心は、必死の牧畜がよいという教えを受け、でつかい夢を持ってやって来たんだよ。

花子 いったい、バターの工場はどこにあったの。
祖母 今はないけど、家の左手に福家製酪所という建物があったね。クリームを作ったり、バターを取り出したりねったりする道具や、大きなかまがあつたんだ。この仕事を、縮吉さんの長男の嫁さんで今の主人の康芳さんのおばあちゃんにあたるヨ子さんがもつぱらやっていてね、特に温度調節や道具の回し方がとてもむずかしかった

そうだ。康芳さんは、ヨ子さんの背中、チンチン、という機械の音を聞きながらねたそうさ。
花子 いつごろから始めたの。
祖母 大正七年に、すずらんバターと、いう名前で一ポンド一円五十銭で売られ、東京の白木屋デパートにも売りに出したそうさ。
花子 すこいね。私もヨ子さんを見習わなくちゃ。私は、バターでなくてチーズに挑戦しようかな。

相川小学校では餌づけが始まった。理科クラブの児童が中心になって世話をし、観察日記にも細かく記録している。72の瞳に見守られて、すくすく成長中。



サーモン通信

15

「記録」も大切な使命です。職人と呼ばれる人々の仕事をビデオで記録したり、昔の暮らしを取材し録音などで残したりと、地味な作業もいっぱいあります。
ふるさと館の周辺をまわりますたのしくしようと、'82年のプランはふくらみます。新企画は毎月このページ「ふるさと館ニュース」でお知らせします。おたのしみに。

おたのしみは
これからだ

★12月29日(火)から1月5日まで(火)お休みです。ただし12月31日夜11時から元旦朝9時まで無料開館